

### 3) 石井健次郎商店跡（朝日西）（富田町5丁目15）

安政年間に創業した石井讓造は、筒井池の北側台地に位置してその庭から池に船を浮かべたそうです。石段の一部が今も残っています。その跡地にマンションが建っています。

### 4) 布屋（勝田家）（富田町5丁目9）

布屋（ぬのや）は、江戸後期の富豪で、天保10年（1839）の文書には、当時富田にあった酒造家6軒が記され、その中に布屋の名がみえます。

布屋の勝田家は、文人・頼山陽（らいさんよう）と交流があり、別荘「遊騁楼（ゆうていろう）」へ山陽が寄宿した記録文のお礼に、布屋の美酒を贈ったとの逸話があります。

この路地奥の右手、屋敷跡の庭には、神の化身で酒とも関わりが深いという白蛇「巳（み）さん」を祀る祠と、巳さんの住处（すみか）とされる大イチョウが残されています。

布屋の屋号を持つ勝田家は、江戸時代の富豪であり、その屋敷跡に富田町役場がおかれた。高槻市と合併後も富田支所として使われていた。富田支所が現在のコミュニティセンターに移り跡地が住宅となった。

今も屋敷跡には、大きなイチョウの樹と根元に祠があります。

※ 富田“高槻まちかど遺産” H25-3 布屋跡と大イチョウを参照下さい。



### 5) 旧富田小学校跡地

- (1) 明治6年(1873年)、本照寺境内に創建された。
- (2) 明治37年(1904年) 普門寺の本堂跡に本確的な木造校舎を建築され、多くの人材を世に送りました。
- (3) 昭和43年(1968年)新池(上の池)下の池跡に現在の小学校ができ移転しました。

昭和48年(1973)校区再編に伴い、富田小学校より赤大路小学校が分離しました。

※1 令和5年(2023年)7月1日には、富田小学校創設150年になります。

今後、小中一貫校設置となると再構築が必要になってくるでしょう。

※2 「富田保育所・富田幼稚園」は、令和3年度から移行し、令和5年度「認定こども園」へと進められています。